

いのち ほのお 生命の炎

●発行所：東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船 3-31-15
電話 (03) 3911-3630

●編集：「生命の炎」編集委員会

生協の現況(2016年9月末日現在)
組合員数=16,371名 出資金総額=550,565千円

http://www.fureaico-op.com

東京ふれあい医療生協 2016年 11月号 No.453

2016 生協強化月間 生協パワーアップ集会

「認知症をめぐる医療生協の取り組み」

日時：11月26日(土) 14時から
会場：読売プリントメディアホール (北区堀船 4-2-1)

デンマーク視察報告など多彩な内容で 強化月間キックオフ集会開く



2016生協強化月間がスタートしました。月間の皮切りとなるキックオフ集会を、9月30日に開催し、62名の地域組合員、職員組合員が参加しました。

キックオフ集会では、まず、デンマークの医療・介護・福祉・教育などの現場や制度などについて報告を受けました。(左の写真)これは今年5月、さらに健康生協のデンマーク視察に当生協から派遣した職員2名からの報告でした。この日はさらに健康生協視察団の2名の職員も参加、視察の意義や経緯、女性の働き方などについてお話をいただきました。

デンマークでは小さな頃から自分自身で考える自立した「個」を重視する教育が実施され、そういった考え方が医療や介護の現場に反映されており、日本との違いを強調した報告に、会場から質問の手が多数あがりました。

報告を受けて、土屋理事長が生協の地域包括ケアについて触れ、医療生協が目指す方向について共有しました。

集会の後半には理事6名、支部長2名、職員1名のリレートークを行い、強化月間に向けた抱負や各分野での取り組みについて発言を受けて、最後に西本副理事長の「団結がんばろう」で意思統一をはかりました。



介護保険制度の後退許すな 陳情署名運動を展開中



要介護1、2のいわゆる「軽度者」に対するサービス給付削減の動きが明らかに。これ以上の後退は許さない」とする声が高まっています。

当生協でも、北区や荒川区の議会に向けて、「軽度者に対するサービス給付削減は許すな」という国への意

見書提出を求める陳情署名運動が取り組まれています。10月7日には介護保険のこれまでの歴史と、私たちが目指す今後の方向性について緊急学習会を開催(右写真)。署名運動を取り組むに際しての理解を深めました。なお、署名は11月中旬に北・荒川の両区議会に提出することになっています。

平成28年 月 日
東京ふれあい医療生活協同組合
理事長 土屋 恒史
北区堀船3-31-15
電話03-3911-3630

介護保険制度見直しに関する意見書提出を求める陳情

(要旨) 平成30年度(2018年度)予定の介護保険制度見直しに際し、要介護1、2の「軽度者」に対する介護保険サービス給付は現行水準を維持・存続するよう国に対して意見書提出して下さい。(趣旨) 社会保険審議会介護保険部会は、次期介護保険制度の見直しのために、本年7月から「軽度者への支援のあり方」、「福祉用具・住宅改修」などについて本格的な議論を進めています。「介護保険の持続可能性の確保」、「要介護3以上の人のサービス重点化」が強調され、社会保険費削減のために、さまざまな利用者負担の増大、軽度者の給付削減が予想されています。生活援助サービスは在宅高齢者の日々の暮らしを支え、また、福祉用具・住宅改修は、転倒や骨折を予防し、ともに高齢者が地域で自立した生活を継続する生命線です。もしも、軽度者向けサービスの自己負担化や、利用料の引き上げが行われれば、軽度者、低所得者などの切り捨てにつながりかねません。高齢者の尊厳を守り自立を支援し、要介護状態の重症化を防ぐという介護保険の理念に基づき、また、家族の「介護離職ゼロ」を実現するために、下記事項を踏まえ介護保険制度のサービス給付の縮小を行わないよう強く求めます。

趣 意
一、要介護1・2の生活援助サービスは、現行通り介護保険給付の対象とし、市町村の地域支援事業へ移行しないこと。あわせて、現在、地域支援事業に移行が認められている要介護1・2の生活援助サービスの状況を把握し、高齢者が安全、安心に暮らせるよう改善を図ること
一、福祉用具・住宅改修と、要支援1・2の生活援助サービスについて、利用者の負担を増す原則自己負担化を行わないこと
一、介護保険の自己負担割合(要介護1)の引き上げや、負担額に上限を設ける「高額介護サービス費」の限度額の引き上げをおこなわないこと

名 前	住 所

▲署名用紙



秋といえば、「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」を思い浮かべますが、みなさんほんのな秋をお過ごしですか。「秋の夕陽に照る山もーみーじ」、おなじみの小学唱歌の一節です。「錦秋」という言葉があるように、美しく色づいていく木々の葉を眺めるのは秋ならではの楽しみだと思いませんか▼王子駅近くの飛鳥山公園は桜の名所ですが、ここで「十月桜」という、秋に咲く珍しい桜が咲くそうです。パソコンで検索してみると10月頃から開花し始めることから、この名がつき1年に2度開花するとのこと。同園に3本植えられており、珍しい品種のため熱心に写真撮影をする人もいます▼飛鳥山の木立にひっそり咲く「十月桜」。春の華やかな印象とは異なり、淡紅色で小さくとも可憐な美しさをもつ。また色づいてきた紅葉とのコントラストは何とも素敵だとか▼秋の風に吹かれながら「十月桜」の下、団子を食べるのも、読書をするのも、筆をとるのも、こんな近くで秋を感じられるのであれば一度足を運んでみようかな。(坂)

一人ひとりが主役になって

百瀬・山根両君のデンマーク研修報告 4.

さて、今回が最終回となる研修報告ですが、最後に訪問先2箇所についてご報告します。

まず、ご報告するのはアクティビティセンター。60歳以上のシニアが、それぞれ趣味の集まりやイベントを開いている施設です。施設での集まりやイベントは、利用するシニアが全てボランティアとして運営しています。私たちが訪問したアクティビティセンターは利用する会員が1600名、年会費7000円(円に換算)で、それぞれの集まりで必要があれば別に集金します。



やはり男性高齢者の参加が課題

ここには楽器の演奏ができる部屋やビリヤードの部屋、スポーツジムのような部屋もありましたが、楽器やビリヤード台、運動機器は全て利用者が持ち寄ったものや、カフェやコンサートを運営して出た利益で、用意されているとのこと。決して市からの予算ではなく、自分たちの手で、自分たちのために運営している施設です。そのため、ボランティア独自で施設運営のための委員会をつくり、予算も責任をもって管理しています。もちろん施設内や地域での課題についても向き合います。ちなみにここ最近の課題は「いかに男性を引き出すか」だそうで、国が変わっても抱えている悩みというのは変わらないようです。



次にご報告するのは、デンマークの高齢者組織、エルドラセイエンについてです。エルドラセイエンは、全人口の1割以上が参加する最大の民間組織であり、会員のほとんどが60歳以上で占められています。活動は交流会などのイベントや独居の方への訪問、その他多種にわたるボランティアです。実際に私たちが訪問させていただいたのは、エルドラセイエンで活動されている方のご自宅。そこで、ボランティアされている方々とお話をさせていただきました。

訪問先のオーナーは御歳89歳(!)。普段は訪問活動をされています。「最近では訪問先でも自分より年下の方多くなった」と笑っていました。また、他にもイベントの運営をされている方、仕事で使っていたコンピューターについて教える方などがおり、それぞれができることをそれぞれの形で行っているとのこと。中には自身が長年使っているからと補聴器について教えている方もいました。その方は「自分は実際に補聴器を直すことはできないけれども、どこに電話すれば直してもらえるかを教えることはできる」とおっしゃいます。その場にいた皆さんが、自分は誰かの役に立つことができる、と自信を持っているように感じました。

出前報告会はいかがですか

今回の2つの訪問先から、デンマークは一人ひとりがより幸せな生活のために、それぞれのできることを、それぞれの形で行なっている国なのだと感じました。それは、まさに国全体としての自立のあり方であり、一人ひとりがデンマークという国の中で主役になっていることの現れなのだと考えます。そして、このことに世界幸福度ランキング1位となっている要因の一端があるのではないのでしょうか。



以上でデンマーク研修の報告とさせていただきますが、最後に数点付け加えさせていただければと思います。まず、今回の研修では研修先の皆様や、きり健康生協・すこやか福祉会・東京ふれあい医療生協の皆様には大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。また、山根・百瀬による報告会をご希望の支部等がありましたら、喜んでお伺いいたしますので、本部までご相談いただければと思います。計4回でしたが、お読みいただきありがとうございます。(百瀬記)

梶原・小台宮城地区が共同し

晴天の下、バスハイクで交流深める

10月16日、梶原診療圏各支部と小台宮城支部共同で、日帰りバスハイクが取り組まれました。参加者は25名でした。
午前9時前に堀船を出発したバスは、宮城公園に回り小台宮城地区参加者と合流。一路川越の喜多院を目指しました。喜多院は徳川家光が誕生した地。春日局ゆかりの寺として有名です。到着後、シニアボランティアの現地ガイドの案内で喜多院の本堂、春日局の居所などを見学。境内の五百羅漢では、自分に似た羅漢像を探すなど楽しみました。
その後、一行はサイボクナム(日高市)で昼食とお買い物を楽しみ、親睦を深めました。この日は珍しく好天に恵まれ、秋の一日を満喫した参加者一同でした。



元気はつらつ体操を毎月

堀船1丁目支部

支部活動紹介-9



堀船1丁目支部は、2012年7月24日に結成総会を開催し、もう4年が経ちました。いや、やっとかも・・・
支部運営委員会を毎月開催。運営委員会報告や支部活動行事をお知らせする支部ニュース「ほりいち版」も、11月で55号を数えます。
学習会は年2回のペースで開催しています。
昨年は雨天により中止となり

ましたが、「東京散歩」を企画し、今年の秋は、葛飾柴又を歩きます。その頃は、江戸川堤もアキアカネが飛び交っていることでしょう。
また、班会「元気はつらつ体操倶楽部」も毎月開催し、7から9名の方が1時間ほど身体を動かして汗を流しています。
さらに、今年5月からは月1回、20軒ほどのペースで組合員宅へ増資のお願いに伺っています。ウイークデーの午前中ということもあり、留守のお宅が多いのですが、雑談交じりにいろいろお話を伺う中で、東京ふれあい医療生協が、たくさんの組合員さんによって、支えられていることを実感しています。

(担当理事・篠崎記)

知って得する健康豆知識

165 識

病状

心窩部痛(みぞおちが痛む)、背部痛、下痢、糖尿病の症状など

膵臓の働きは前述したように、消化酵素を出します。したがって、その酵素により、膵臓自体が自己消化されてしまうため、膵臓自体が溶解します。そのため、かなり痛むのが特徴で、急性膵炎の場合「膵卒中」などと言われ、ひどい場合はショック状態になります。また、慢性的に障害されると、消化酵素の分泌が低下し、消化不良となるため、脂肪などが分解されないため、下痢になります。特に脂っこいものを食べると下痢になります。

と同時に、インスリンなどのホルモンが分泌されなくなるので、糖尿病になり糖尿病の症状が、出現します。したがって、初めて、糖尿病が指摘された場合、一般によくある糖尿病だと思っていたら、膵臓が障害されたために糖尿病を発症

検査方法

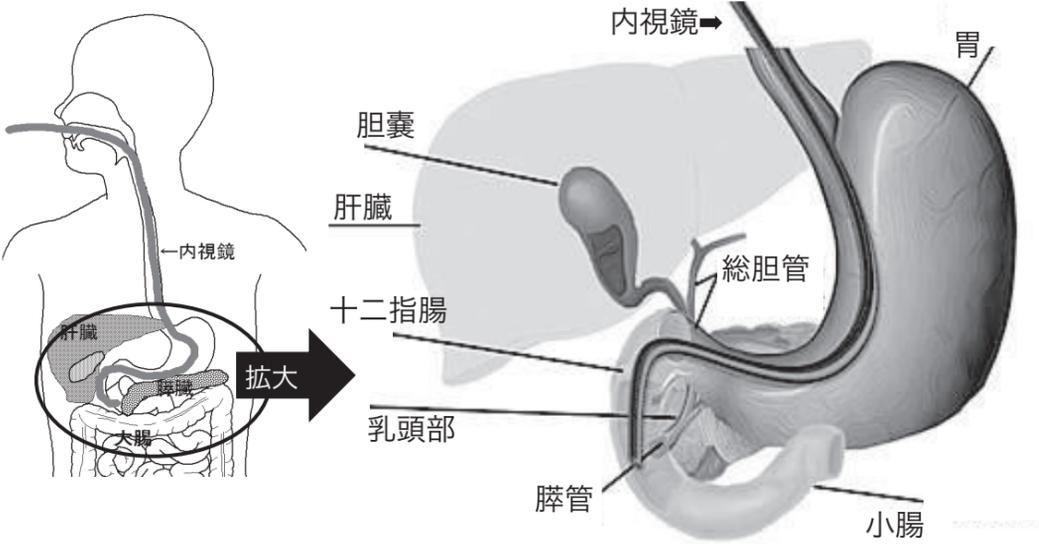
している場合もありますので注意が必要です。糖尿病の治療をしていたら、実は、膵臓癌ができていて、気づかないうちに癌が大きくなって、膵臓癌で命を落とすというケースもあります。

血液検査

血液検査では、膵臓の酵素(アミラーゼ、リパーゼ)、閉塞性肝障害がないか肝機能

膵臓の病気

梶原診療所 内科医 神田光悦



診のオプションとして入っている施設がありますが、あまり感心しません。健診で、腫瘍マーカーの検査をし、数値が微妙に上がっている方が、パニック状態になり、相談にこられる方も、しばしば遭遇します。腫瘍マーカーについては、

超音波検査

超音波では、膵管の拡張、膵石などが観察されます。また、嚢胞、腫瘍なども

見えます。CT、MRI、ERCP 腹部超音波では、肥満の

方々、便秘でガスの多い人は、膵臓は観察しにくい臓器ですが、CT、MRIはその影響はありません。ただし、膵臓癌などは、単純CTだけでは、診断が難しいので、造影剤を使ってCT撮影を実施します。詳しく調べるためには、

総胆管に造影剤を直接注入する検査をします。逆行性胆管膵管造影(ERCP)です。これは、口から内視鏡を入れて、十二指腸の乳頭部まで内視鏡を進め、内視鏡から、チューブを出して、そのチューブを胆管に挿入し造影剤を胆管に注入する方法です。 つづく



キッズ メディカル 57

「B型肝炎ワクチンが無料になります」

平成28年4月1日よりB型肝炎ワクチンが無料になります。(但し平成28年4月1日以降に生まれた赤ちゃんで0才児のみとなります) B型肝炎ウイルスに感染すると、一部の人キャリア(持続感染ウイルスを体内に保有した状態)となり、キャリアのうち約10%の人は慢性肝炎を発症し、肝硬変、肝臓がんへと進行する危険性が高くなります。肝硬変になると3人に1人が肝臓がんを発症してしまいます。



B型肝炎ウイルスの感染者は、日本国内で約100万人と推定されています。感染後の経過は様々ですが、赤ちゃん、特に3才未満の乳児がB型感染ウイルスに感染すると、キャリアになる危険性がずっと高くなります。赤ちゃんが生まれたら出来るだけ早くワクチンを接種して、将来の生命を守りましょう。

在宅の窓 82

デイサービスで夏祭り

7月21日・22日の2日間、デイサービスでは夏祭りを実施しました。水中の的を狙ったコイン落とし、紙皿を的にしたお手玉投げ、磁石を使った魚釣りなど、今年も様々な縁日ゲームが並びました。中でも紙コップ相撲、おもちゃのカエル飛ばしのミニゲームコーナーはご利用者様からの発案作成で始まったものです。祭ばやし、音楽にのせて、この時ばかりは皆、童心に帰ってゲームに挑戦です。どのコーナーでも、歓声や

笑い声。ご家族の参加もあり、とても賑やかなひとときとなりました。今年後半は、運動会、クリスマス会を計画しております。ぜひご見学にいらして下さい。(デイサービス・林記)

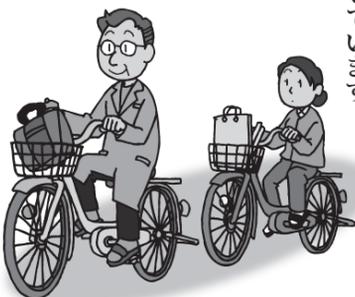


ふれあい 士 図鑑 第八回 特別編

今回は「梶原診療所の訪問診療の看護師業務を紹介してほしい」と依頼があったので、お応えいたします。

まず、看護師とはどのような業務をする者でしょうか。看護師とは「厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはよく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者という」と記されています。

訪問診療の看護師の業務は、今掲げた後者の業を行っています。基本、通院が困難な方に対して医師が訪問して診療することの補助をベースとし、相談業務から始まり、介護サービス事業者との連絡調整、外来受診や他医療機関との連携、体調管理や急変時の対応、入退院調整など、訪問診療患者さんにかかわる様々な業務をなしています。



現在、梶原診療所では200名強の方の訪問診療を行っています。さらに宮の前診療所・ふれあいファミリークリニック・オレンジほっとクリニックで訪問診療を受けている方の、休診時の臨時の対応も行っています。

(訪問診療看護師長 氷室記)

2016「子育て教室」受講生募集中



子育てママと専門スタッフが一緒に子供の健やかな成長を目指します。子育てで、分からないことだらけ！専門家に質問したい方！ママ友が欲しい方！などなど♪

- 第1回講義** 11月19日(土) 「頭の良い子に育てるために」
 講師：倉信均
【費用】 受講料 1,000円 (組合員以外の方は2,000円となります)
【保育室あり】 職員と保育ボランティアが講義中お子さんをお預かり致します。
【保育場所】 ふれあいセンター **【受講生定員】** 15名
【申し込み】 11月12日まで
【問合せは】 本部組織部 ☎部 03-3911-2005 担当目々澤まで

「28期くらしと平和スクール公開講座」参加者募集

11月初旬より連続して4回の講座を開催します。そのうち、2回の講座をどなたでも参加できる公開講座を開催します。

申し込みなしで当日参加ができますので、ご都合を合わせてご参加くださるようお願いします。

■会場：ふれあいセンター ■時間：14時から ■参加費：各講座300円(資料代)

講座番号	開催日時 講座名	会場 講師
1	11月4日(金) 14時～ 仮題「社会保障制度をめぐる今日的課題」	ふれあいセンター 土屋悟史理事長
	11月30日(水) 14時～ 仮題「介護保険16年の歩みと今後の展望」	ふれあいセンター 鹿倉泰祐氏(NPO法人東京福祉・まちづくりネット代表理事)

受講申込先
 社会障平和委員会事務局 TEL03-3911-3630 担当：天沼

理事会から

2016年度 第4理事会
 開催日9月1日

(報告事項)

- ① 8月加入44名増資1,915千円班会開催8月10日
- ② 8月診療所外来98%・在宅数昨年比99%
- ③ 訪問系延数126%
- ④ 7月決算・経常剰余340万円の黒字
- ⑤ 生協管理運営状況調査9月16日

(協議事項)

- ① 7月度の経営状況について
- ② 目的設定支援システム導入388千円

自由脱退および出資金の減額の手続きについてのお知らせ

出資金の減額や、都外転居・死亡以外の理由による「自由脱退」について、東京都の指導により今後は定款の定めに従った取り扱いと致しますので、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

昨年7月に受けた東京都の監査で、これまで行ってきた当生協の「自由脱退及び減資」処理の是正を求められ「定款通りの取り扱いを」との指導を受けました。

従って、「やむを得ない事情」を除いた自由脱退や減資については、毎年12月末までに申請して頂き、翌年3月末日に処理することとなりますのでお含み置き下さい。

ご不明の点、お問い合わせは組織部☎3911-2005までお願いします。組合員各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

〈参考〉定款第10条(自由脱退) 組合員は、事業年度の末日の90日前までにこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて脱退することができる。同17条(出資口数の減少) 組合員は、やむを得ない理由があるときは、事業年度の末日の90日前までに減少しようとする出資口数をこの組合に予告し、当該事業年度の終わりにおいて出資口数を減少することができる。

健康づくり委員会掲示板

<地域共通 梶原・宮の前>

- NO2(二酸化窒素)測定
 日時:12月1日(木)~12月2日(金)
 問い合わせ 生協本部 ☎ 3911-2005 鈴木
 宮の前 ☎ 3800-7201 丸山



<梶原地区>

- 放射線量測定
 日時:12月9日(金) 午前9時30分
 場所:ふれあいセンター前集合

<宮の前地区>

- ふれあい粋、生き(いきいき)サロン「あつふる会」健康チェック
 日時:11月10日(木) 午後1時30分から2時30分
 場所:小台あつふる館
- 西尾久東長寿会 健康チェック
 日時:11月18日(金) 午後1時から2時
 場所:西尾久東町会会館
- ふれあい粋、生き(いきいき)サロン さくらサロン宮の前
 日時:11月16日(水) 午後2時から3時
 場所:宮の前診療所2階 さくらの部屋

窓口からみなさんへ

梶原診療所

木枯らしの吹く肌寒い季節となりましたが、皆様いかがお過ごしですか?
 梶原診療所・宮の前診療所・ふれあいファミリークリニックでは10月よりインフルエンザの予防接種を開始しています。
 梶原診療所では予約制で接種していますが、内科で定期受診されている方に関しては、主治医が接種の必要性について判断していただきます。まずは主治医にご相談下さい。それ以外

の方にしましては診療所窓口にて予約を受けていただきますので、お早めに予約申し込みされることをおすすめします。
 宮の前診療所やふれあいファミリークリニックでの接種をご希望の方は、それぞれの診療所へお問い合わせ下さい。
 風邪が流行し始める時期です。うがい・手洗い・マスクの着用などを心がけて、健康に過ごせるようお気を付け下さいね。(渡邊記)

受付

歩こう会(みやまえウォーカーズ)

- 『11月』
 日時:11月13日(日)
 行き先:松戸市 戸定邸 町屋駅改札口9時集合
- 『12月』
 日時:12月11日(日)
 行き先:目黒国立教育園 田端駅改札口9時集合
- 『2017年1月』
 日時:1月8日(日)
 行き先:浅草七福神巡り 都電三ノ輪橋駅(終点)9時集合



宮前 反版

コープのなかま・荒川『コープカフェ』

- 日時:11月9日(水) 午後1時30分から3時
 場所:熊まねき堂 (はっぴいもーる熊野前 中程)
 参加費:100円
 問い合わせ先:宮の前診療所(Tel3800-7111)

『自分の死を考える会』 東尾久支部

- 日時:11月18日(金) 午後2時から
 場所:アクト21 地下
 テーマ:「終末期医療」